

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したようになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム よしの村
(ユニット名)	あやめ棟
所在地 (県・市町村名)	鹿児島市吉野町3822-1
記入者名 (管理者)	竹下 明子
記入日	平成 20年 7月 27日



地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・理解した上で業務にあたっている ・玄関へ掲示している	○	・もっと地域との関わりを増やした方がよいと思う
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・利用者一人ひとりの個性を大切にしながら落ち着いて暮らしていただける場を提供し様と努力している ・理念の意識が薄いと思う ・常に目に付く場所に掲示されてある実践への意識向上を図っている		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	・地域との関わりは強くないがご家族には面会の際などの会話で理解して頂けていると思う ・家族会などを開催し話している		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・散歩に出た際などの挨拶は必ず行い配慮している ・納涼祭を行い近隣の方々に来ていただいている ・近所での買い物等	○	・ホームへの訪問はあまり出来ていない
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・保育園との交流、ボランティア、実習生等の交流 ・他事業所や保育園の行事に参加したり招いたりして交流を深めている ・町内会へ入っている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・特に行っていない(ボランティアの学生との関わりなどはある)	○	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・定期的に自己評価、外部評価が行なわれている事で業務の見直しや改善に取り組めると思う	○	・自己に問いかけながらまだ不十分な所を直していきたい
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・管理者、主任を通して様々な提案や取り組みがなされていると思う ・定期的に行われ意見は活かされている	○	・会議の結果を公表して欲しい
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・保護課の方との交流(訪問)あり ・介護相談員の訪問がある(年1回)	○	*もっと市町村との関わりに取り組む
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・会議の際など権利擁護について話し合う事がある	○	・地域福祉権利擁護事業や成年後見制度についてもっと理解していきたい
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・入浴時のボディチェックや職員間で声かけの工夫など気をつけている ・職員研修の実施		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・十分、説明されている	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・意見や苦情に関しては主任、管理者へ報告するとともに対応についても話し合い運営に反映させている ・信頼を築き対応するよう心がけている ・利用者が気軽に話せるような環境を作っている	○ ・意見を聞きだし公表して欲しい
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	・家族会、定期的な郵便物やその都度の連絡、報告は電話で行なわれている ・面会時金銭管理帳など見てもらいサインをもらう又日誌なども利用者の生活を理解していただく為に読んでもらう	○ ・状態変化があった時のみ連絡していつので定期的にするようにしていきたい
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・家族会などで出た意見はしっかりと申し送りされ運営に反映されている ・家族会の際や来棟の際にコミュニケーションと密にとり意見、不満等を表しやすい雰囲気作りに努めている	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・職員会議のほか、各棟の会議により意見を出し合っている ・月1回に全体職員会議、各棟会議を行なっている	○ ・意見、提案を聞く機会をもっと開いて欲しい
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・利用者の状態に応じ柔軟な体制がとれていると思う ・利用者に合わせて職員の人数が必要な時に人数調整されて考えられている	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・異動、離職者が少ない為、利用者への配慮はしっかりとされていると思う	○ ・ダメージを防ぐ配慮をして欲しい ・異動はないほうがいい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・定期的に勉強会が開催されている、研修は随時行なわれてあり新人スタッフに対してもしっかり指導されている ・積極的に研修会、講演等への参加が促され提案されている	・もっと研修に参加したいと思う ・質の向上の為にも勉強会、研修参加に努めていきたい
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・定期的に催されている ・法人内で交流を実施している	○ ・もっと質の向上を高めるためにも取り組むべきだと思う
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・職員同士のチームワークも取れており意見を出しやすい環境はある ・法人内にてレク企画(ビアパーティー、忘年会等)がある	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・皆勤手当などの支給はある、また職員が意見をだすと、それに協力的である	○ ・個々の意見を生かし、多様な方面より個人を見て評価して欲しい
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・入所前に担当者会議などで十分な話し合いがされ現場に伝えられている ・話していただける範囲内で理解し受け止めるよう努めている	○ ・もっとより添うケアを取り組んで行きたい
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・受け止める努力がされている	○ ・もっと家族より相談を受ける機会を作りたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・対応できている ・相談を受けた際は出来るだけの事はするように心がけている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・状況、ケースに応じて可能な範囲で出来ている ・声かけ等をこまめにかけるよう努力している		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・利用者の生活歴などを知り利用者、スタッフの知識を出し合いながらケアに努めている ・本人の立場になり考えられるよう努めている		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・本人の状態を家族に伝えたり面会などの協力をもらっている ・利用者の思いが理解できるよう会話を大切に努めている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・家族への協力をもらえるよう努力はしている ・家族の気持も利用者の気持も考えた上でより良い関係になれるよう努力している	○	・面会の機会に出来る事はないか考えたい
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・出来る範囲内で支援されている ・大切な場所、人などの話を教えていただき会話にて思いだしていただくなど努めている	○	・あまり訪問者が来られない為、馴染みの人や知り合いの人が気軽に来れる努める
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・利用者同士のトラブルもある為お互いの意見を大切にした上で交流できるように努めている	○	・いろんな話題を持ち仲良く会話が出来るといい ・利用者間のトラブルが少なくなるよう配慮する

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・退所後もどこへ行かれたのかななどの情報を申し送りされている ・他のところに行かれてもあいさつしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・本人の意見を大切にしており傾聴することを大切にしている ・出来るだけ本人が望む生活ができるよう努めている	○	・もっと話しやすい環境を作っていきたい ・もっと利用者の暮らしの希望や意向を把握していきたい
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・情報提供やスタッフとの会話の中で出た生活歴などを記録に残し把握に努めている ・書類などで今までの生活歴等の理解をしている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・一人ひとりの出来ることを大切に出来る部分は自分でして頂けるように把握している		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・カンファレンスを通じた意見や家族の要望など組み込まれている ・ケアカンファレンスにて生活しやすい環境課題などを話し合いしている		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・介護計画の見直しの際は月一度あるケアカンファレンス内にて話し合う ・見直しが必要な場合は見直されている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・記録を生かしたカンファレンスが出来ている ・発した言動なども記入する様にしているので活かしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・会議などで他事業所の専門職の方に教わる機会がある(栄養士、PTなど) ・必要に応じて利用できる事などがある場合は上司に相談し話を聞いている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・学生ボランティア、消防署のつながりなど協力、支援できている		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・他のサービスを利用する事例がない為、行っていない		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・運営推進会議への参加をいただいている ・オムツ申請など協力して]いただいている		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・本にの希望に応じ、また受診や往診が必要な際はその都度支援している ・本人家族の希望をきき医療が必要な時はすぐに対処している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医に報告、相談の下、必要なケースでは他科受診行なっている 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症についてゆっくと話ができる時間が作れるといいと思う
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護師や受診時等で現状報告等を話し利用者の把握に努めている ・週1回の定期的な訪問看護師との関わり相談を大切にしている 		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	<ul style="list-style-type: none"> ・連携をとり情報交換に努めている ・入院中なども見舞い等に行き励まし等をしている 		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りについて、また進行性の疾患についてカンファレンスで話し合い方針を共有している 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・自分達に出来る事が限られている為その理解を家族や関係者にも理解して頂けるようにする
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、重度化したらどうなるのか、どのようなケアが必要になるかを考え検討している ・毎日、往診が入りDrやNsが状態をみて支援に取り組んでいる 		
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や関係者との話し合いで情報を交換している 		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・プライバシーを守るよう声かけに工夫したり個人情報の取扱いには気を配っている ・声かけの際、不適切ではなかったか気を付けている ・個人情報は守っている	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・話を聞き本人が自分で決められる様に取り組んでいる ・利用者本位のケアを出来るようカンファレンスなどを開いている	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・食事、入浴などの流れはあるがその他の時間については出来るだけ希望に添ってやりたいことが出来るように支援している ・その方の意見を尊重し無理強いはしないようにしている	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・散髪については訪問理容を利用、外出の際や受診に行く際は適した服と一緒に選んでいる ・本人の望んだ散髪できるようにしている	○ ・自分の着たい服、したい格好などもっと希望にそえるように配慮したい
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・栄養バランスを考慮して食事を楽しめるよう工夫している ・それぞれの出来る範囲内で準備、片付けのしている ・食事の好みを聞き楽しめるようにしている	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・疾患の関係もあり全ては出来ないが好みの物の情報は収集している ・身体状況を把握し出来るだけの範囲内で支援している	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・排泄パターンを掴むために個人のチェック表を作っている ・記録に残し排泄パターンを掴み、定期的な声かけ誘導を行い、オムツを外して行く支援を行なっている		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・2日に1度とし入浴実施している、必要に応じてシャワー浴など実施している ・入浴に対する希望などは出ていない ・入浴前に声かけを行い利用者が気分良く入っただけよう、無理時はしない		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・寝たい時間に眠れるよう配慮している ・体調に合わせて利用者が望むようにしている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・定期的なドライブや家事などへの協力をもらう事で気晴らしになるように取り組んでいる ・買い物、ドライブ、写字やパズルなど一人一人の興味や身体状況に合わせたレクリエーションを取り入れている		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・お金は一人ひとり所持保管していただくことは難しい為預かっている ・本人がどうしても必要で欲しものは家族に相談し購入するようにしている ・必要な場合は使えるようにしている		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・外出したいという方がいれば散歩やドライブなど、その日によって出かけられるようにしている ・本人の希望に合わせて出かけられるようにしている		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・ケアカンファレンスを開き計画を立てている	○	・今後野外活動を考えている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・要望がある際は受けられるように配慮している		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・気軽に来ていただけるよう配慮している		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・物理的な拘束も心理的な拘束もならないように配慮している ・ケアカンファレンスを開き、また家族に意見を取り入れ拘束しないケアに取り組んでいる		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・日中はセンサー(アラーム)の音で対応、外に出られる場合は一緒に散歩したりと取り組んでいる ・声を掛け合い利用者の所在確認等実施している		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・ホール、居室、畑(庭)など、どこにどの方がいるか把握し安全に気を配っている		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・包丁、マッチなど生命を危険にさらすようなものは保管場所を決めている		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・会議を通して研修、マニュアルなど貼られている ・勉強会やケアカンファレンスを開き話し合う場を作り取り組んでいる		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・マニュアル張り出されており、それに添った対応をするように心がけている		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・火災、防災訓練を行っている	○	・地域の人々の協力を得られるように働きかける ・もっと避難訓練回数を増やす
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	・家族への説明はされている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・体調等の変化はすぐに医療(病院)へ連絡し早い処置を行っている、又すぐにスタッフ同士の連携を図っている ・日々の申し送りの中で気付いた事を話し合い、必要に応じてスタッフ間で話あっている		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・薬の効能、副作用などわかるように一括して綴っており、いつでも確認できるようにしてある ・利用者の薬ファイルがありそれぞれ把握するようにしている		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・リハビリ体操や体を動かしたり水分補給などを行っている ・排便状況のチェックや便秘になっての方へは服薬などで対応している ・ゼリーや水分補給、食物繊維の多い物、運動等を取り入れている		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・できる方には自分でして頂き、清潔に保つように努めている ・食後全員に口腔ケアの声かけ、介助、確認を行っている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎食の食事量と水分量の記入を行い把握に努めている ・栄養士の指導を受けている ・持病等にも考慮し材料、分量等に気をつけている ・記録チェックし常に注意を払い、栄養、水分の確保に努めている 		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	<ul style="list-style-type: none"> ・汚染物の取り扱いなどに注意している ・インフルエンザの予防接種 ・手すりなどの消毒を実施(時間を決め行っている) ・自己管理表(チェック表記入) ・手洗い、うがい等しっかりしている 		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に消毒している (ハイターなどによる消毒) ・毎日の掃除 		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・人が入りやすいように綺麗にするよう心がけている ・明るくするために花を植えたり、花を飾ったりしている ・花壇に野菜や花を植えている ・毎日の掃除 		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・皆で作った作品や個人の物、また生花等の季節を感じられる物などを飾り楽しんでいる ・季節の折々を貼ったり、利用者に分かり易い大きな文字で場所を示したりポスターを貼ったりしている 		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが過ごしやすい場所で過ごせるようにスペースがある ・本人に合わせた居室作り ・テーブル席の工夫、居室のあり方の工夫をしている 		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の方が持ってこられたものなど飾っている ・本人が好まれる居室に工夫している ・本人が日頃使っている物を置いている 		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上みがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・換気、温度調節等をおこなっている ・必要に応じた換気や空調の利用をしている ・温度計や湿度計を見て配慮している ・窓を開け空気等の入れ替えを行っている 		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・手すりや滑り止めなど工夫をしている 		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの場所案内や居室の表札など工夫している 		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の野菜などを植えている ・庭に雑談等できる場所がある 		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	2	①ほぼ全ての利用者の
		5	②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	3	①毎日ある
		5	②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	3	①ほぼ全ての利用者が
		6	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	4	①ほぼ全ての利用者が
		4	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
		4	②利用者の2/3くらいが
		3	③利用者の1/3くらいが
		1	④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	7	①ほぼ全ての利用者が
		2	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	5	①ほぼ全ての利用者が
		4	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	4	①ほぼ全ての家族と
		3	②家族の2/3くらいと
		2	③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
		1	②数日に1回程度
		8	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1	①大いに増えている
		2	②少しずつ増えている
		4	③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	3	①ほぼ全ての職員が
		4	②職員の2/3くらいが
		1	③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	2	①ほぼ全ての利用者が
		6	②利用者の2/3くらいが
		1	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	3	①ほぼ全ての家族等が
		4	②家族等の2/3くらいが
		1	③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)